

# ひめだ高宏ニュース

No.1264

19.10.8

## 9月定例市議会報告



リーグのワールドカップで日本はサモアを破る連勝。日曜日のスコットランド戦が楽しみだ。

10月2日(水)9月定例市議会が終わりました。日本共産党は市長が提案した3件の議案のうち、問題のある1件について賛下せず、議案が反対討論として反対。その内容について報告します。

### 日本共産党市会議員団

## 3議案中14件に反対

議案1号、一般会計補正予算について、個人情報漏えいやカードの自己管理などの不安から普及が進まないマイナンバーカードの問題が、国の補助金削減の理由に

助金を使って普及促進のためにポスターやチラシ作成を行うことは不適切です。市民会館建設費用の増額は意図伝達業務管理監督が前でもあったことと理由に

して、計上が、当初の予算計上がズサンすぎます。若竹学区を民間委託するため、債権買付行為の計上は、利用者にも負担にもまったく知らず、市長の方針転換であり、迅速な無責任で認められませんか。

議案2号、和歌山市場特別会計について、国の補助金で調査委託料が計上されてはいますが、市の主体性や独自性がありません。

議案4号、駐車場管理特別会計について、販賣創出を理由に建設中の北駐車場に店舗スペースを確保することの必要性が見通しが不透明です。駐車場の機能こそ最優先するべきです。



<1047>

## フリーの人々



議案金額 0,000円	
内訳	
最低料金	000
1設料金	000
2設料金	000
再工機料	000
燃料調巻	000
還流用経費	000

利用者負担に説明せよ

議案10号は、いさひもマイナンバーカードの利用で事務の簡素化を目的に、感染症患者の医療費増、障害児通所支援、身体・知的障害者の費用負担などの増

## 今週のフリーの人々

(その210)

事実は小説よりも奇なり。無代官の屋敷で謀議の際に悪徳商人からの下(ワイロ)として小判を数枚詰めた菓子折りが出てきます。受け取った悪代官のセリフは「おまも毎々のう」。それに「お代官様ほどは」といふのが「ワイロ」の時代劇。ワイロにはかくある場面。こんなことが現実にあるのかと、関電の原発マネー還流事件を知った多

準を所得税額から地方税法の所得割額に変更するといふことです。マイナンバー制度の問題や情報自己決定を保障する立場から反対です。

くの国が思ったはずで、時代劇でワイロは渡す側がのみ手をして受け取る側は使っていない。取りますが、関電の受け取った人たちは渡す方が怖かったので受け取ったと言っています。奇妙な話です。どうしてしても原発は国民の税金金です。7年間を3億2千万円の説明が、ここにきて9年代からあったとのこと。原発マネーの関は、こまでも深まっています。



ひめだ高宏

議案14、16号について、市立幼稚園型認定こども園条例の制定に関するものですが、これは市の市立幼稚園とこの保育所との認定こども園に統合する計画であり、保護者の不便や不安があることから賛成できません。

議案57、7、19、20号について、いずれも会計年度任用職員制度に関する条例の改正です。これまで通り働き続けた場合は、非常勤

職員に雇用され、非常勤の待遇改善の期を当面文書として取り上げますが、当面は給与は増加させないとして、民間委託など人件費抑制を進めようとしています。

労務局は全職の定めのない非常勤職を中心にするべきであり、非正規雇用を固定化する恐れのある制度には賛成できません。以上を申し述べたいと述べています。

### 2018年度決算特別委員会設置

9月定例会市議会最終日、2018年度決算認定について、各個人を審議する公営企業決算特別委員会(日本共産党は中村あすこ、森下たけし議員)と決算特

別委員会(同・ひめた高先、南畑さすけ議員)が設置されました。公営企業決算は7、8日を終了。一般・特別会計決算は11日から18日までの予定と見えます。

## 日本共産党

### アベ首相の所信表明

4日開会した臨時国会。アベ首相の所信表明について、日本共産党の志位和夫代表、消費増税に

まともな説明が全くない。苦しみ国民に対する目標もいっものがない」と批判。閣内閣外に置いて「国民

閣内閣外、カ、のまもなかつたのは驚かされた」と批判。アベ首相が憲法審査会

の憲法審査会を原案とする原案マネーが閣内閣外に選流していったという極めて深刻な懸念だ。政府は原案再稼働のための憲法審査会上げの認可をしておき、その監

督責任が問われているのにはない」と強調しました。

## 潮流

判決をこのまま確定させることは、著しく正義に反する。検察官役の指定弁護

水が指摘されてきました。その間の一端が明らかに。関西電力の会長や社長ら20人が、福島第一原発事故を役から現金、小判、金貨、

士が、福島第一原発事故をめぐり、東京電力旧経営陣3人を無罪とした東京地裁判決を不服として控訴しました。▼地裁の判決で驚かされたのが、「当時の社会運

念」を打ち出し、「(原発の)絶対的安全性の確保を前提としていかなかったから」と、元会長や元副社長長の責任を免罪したこと。事故があっても許容しろとでも言うかのようです。▼到底納得できない」との指定弁護士の指摘は当然です

▼「当時の社会運念」といえば、国や電力会社などの「原子力ムラ」が「原発の重大事故は起らない」と「安全神話」を振りまいていたことと無縁ではありません。そのなかで、原発推進

た役員も。電気料金を原資とする工事費の一部が経営陣に還流していたのではないかと疑念。▼同町は高浜原発1〜4号機がある原町下町。今は再稼働のための工事が目白押しです。原発関連工事を請け負った元企業と元助役の関係は相当深く、聞ても水を汲み取っていました。▼「原発マネー」の問題は聞か以外でも指摘されています。この間が「社会運念」醸成の「役を買った」のではありませんか。徹底説明が必須です。

ふん 赤旗 日刊日曜版の普及に力をつくす。